



# 出会いに感謝 「自主・創造」

文責 辻 大吾

## みなさん、本を読むことを楽しみませんか！！

みなさん、読書していますか！！

現在、学校の図書館では先月発表された「2024年本屋大賞」の本をはじめ、直木賞、芥川賞を受賞した本が、特設コーナーに置かれています。注目の本ということで、並べられているほとんどの本が貸し出し中となっていますが、次に借りたいと考えている人のために、図書委員会から予約カードも発行されていますので、是非活用して読んでみてください。



さて、私は本を読むことが好きで、図書館や本屋さんによく行きます。つい先日も本屋さんで気になった本があったので、購入して現在読んでいます。私が本を読む一番の理由は、「読後感」を味わうためです。「読後感(どくごかん)」とは、読んで字の如く「本や文章を読んだ後すぐの感想や気持ち」のことです。一冊の本の最後のページを読み終えた後、その本を閉じた時に湧き出てくる気持ち、それはあたたかな気持ちであったり、驚きの気持ち、幸せな気持ち、時には切なくなるような気持ちであったりもします。そして、それら全ては感動につながり、自分自身の心を豊かにしてくれる素(もと)になっていると思います。

読書することのよさは、他にもたくさんあります。知識が身につくと同時に語彙が増えます。そして、表現力が豊かになります。例えば、今読んでいる本には「首肯(しゅこう)する」という語彙がよく出てきます。漢字から意味は分かるのですが、私が今まで使ってこなかった語彙です。「うなづく」を別の語で言い換えられることを学びました。また、その本には「踵(きびす)を返す」という表現がありました。「私とばったり出くわすと、彼は踵を返して走り去った」つまり「彼はUターンして走っていった」ということですが、「踵を返す」という表現を使うことで、彼にとって何か思いがけないこと、予測していなかったことがあって、とてもあわてている様子が浮かんできます。

その他、「会話力・文章力が向上する」「想像力・発想力が豊かになる」「生活や人生においてプラスとなるアイデアやヒントが手に入る」「読解力・集中力が身につく」「読んだ本についての情報交換を通してコミュニケーション力がアップする」等、本を読むことのよさは、本当にたくさんありそうです。また、国内外の様々な研究において、「読書量」と「学力の向上」には相関性があることも発表されています。



生徒の皆さん、どうぞ「本を読むこと」が好きな人になってください。学校図書館や公立図書館(市内には2つの図書館があります)を大いに活用してください。

廊下や図書室で出会った時には、是非おすすめの本について情報交換しあいましょうね。

# 感動の滋賀県「中学校春季大会」「吹奏楽祭」!!



5月16日(木)17日(金)の二日間、中学校春季総合体育大会が各会場で開催されました。また、吹奏楽部は守山市民ホールにおける滋賀県吹奏楽祭に参加しました。

2日間ともすがすがしい天気でした。可能な限り会場を訪問しましたが、「おはようございます」「こんにちは」「応援ありがとうございます」気持ちのいい挨拶をたくさんいただきました。

日頃の練習の成果を発揮できるよう、ステージアップ・スキルアップを目指して力いっぱいに取り組む姿、対戦相手へのリスペクトの精神、会場や自分の道具・楽器を大切にする所作、仲間の頑張りに送る熱い声援や温かい声かけ、「ありがとうございます」という感謝の気持ち・・・本当にたくさんの感動の場面を見ることができた2日間でした。



今回の経験を通して実感した成果や反省を糧として、次に進んでほしいと思います。



お知らせ)老上中ホームページには、「学校の様子(学びの足跡)」をはじめ、「本日の給食」等をアップしています。是非ご覧いただきますようお願いいたします。あわせて(たくさん)「👍いいね」もお願いいたします。

[草津市立老上中学校 | トップページ \(scblo.jp\)](http://scblo.jp)

